

試料・情報の提供に関する情報公開について

当院では、下記の研究または調査等の意義に賛同し、当院で保管する試料や診療情報を提供しております。当院を含む多くの医療機関が協力することで、研究の質が向上し、今後の医療の発展につながることが期待されます。

対象者に該当する方で、試料・情報を研究目的に利用されることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、外部への提供はしませんので、下記の問い合わせ先にご連絡ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。また、研究や調査等の詳細についてお知りになりたい場合も、下記の問い合わせ先にご連絡ください。他の研究対象者等の第三者の個人情報や知的財産の保護に支障がない範囲内での開示となります。

研究調査等名称	日本産科婦人科学会周産期委員会 周産期登録事業及び登録情報に基づく研究
研究調査等主体 (学会名等)	日本産科婦人科学会 周産期委員会 委員長 関沢 明彦
対象となる方	承認日～2034年12月31日までの間に、けいゆう病院で出産された方
情報の利用目的	この研究への参加によって、①本邦における全国レベルの膨大な出産例に関する母体・胎児・分娩周辺の関連医学情報を集約でき、我が国の周産期領域における諸種の疫学的、医学的傾向と解決すべき課題を把握することが可能、②登録参加施設となることによって、本登録情報から得られた研究成果を、個々の登録施設における臨床面および疫学的検討・解析に敷衍させることが容易かつ可能、③登録施設の臨床研修施設認定および研修制度に益する、などの意義があります。これらを通じて本邦ならびに登録施設の周産期医療・医学レベルの更なる向上につなげることが本研究の目的です。
提供するもの	☐ 試料（保存検体等） ☒ 情報（診療情報等）
提供するもの (詳細)	入院理由、不妊治療の有無、着床前・出生前遺伝学的検査の内容、母体紹介の有無、妊娠・出産回数およびその内訳、喫煙飲酒歴、分娩週数、分娩日時、分娩方法、麻酔法、分娩胎位、誘導・促進の有無および方法、胎児心拍パターン分類、産科合併症、母体処置内容、出産体重、性別、Apgar値、臍帯動脈血pH、児体格、児疾患名、胎児付属物所見、産科既往歴、母体基礎疾患、母体感染症、母体使用薬剤、母体転帰、児の転帰 等
提供方法	編集したデータをWEB上で登録
個人情報の保護	本研究で取り扱う患者さんの情報は個人情報をすべて削除し、登録項目のうち

	患者さんの氏名、入院番号などのように、ひとつの項目だけで個人の特定が可能な情報は削除されていますから、第3者にはどなたのものか一切わからない形で日本産科婦人科学会へ提供され、登録データから患者さんの特定を行うことはできません。 また、将来、本研究に関連する別の研究のために利用させていただく場合は、その計画について別途倫理審査を受け、院長の許可を得た上で使用します。二次利用を希望されない場合は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。
お問い合わせ	一般財団法人神奈川県警友会 けいゆう病院 電話 045-221-8181（代表） 内線57233 産婦人科 荒瀬 透